

図書委員会からのおすすめの本

本好きのための 本好きに捧ぐ本

1冊目 『甲子園だけが高校野球ではない』

5月17日(月)放送分

まず、1冊目は『甲子園だけが高校野球ではない』岩崎 夏海(なつみ)監修(かんしゅう)です。この本には、高校野球の雑誌記者や編集者が取材で集めた実話がたくさん書かれています。

僕はこのなかで、第6章の「AEDが僕を救った」というお話が一番心にひびきました。試合中に打球が胸にあたり 意識を失った僕に、たまたま応援にきてくれている人の中に救命士さんがいて、AEDを使い僕を死のふちから救ってくれました。

病院のベッドで目ざめた時にやった!生きてる!という安心感やチームメイトたちの優しさに何度も触れて、再び野球ができることの幸せまで気づかせてくれたお話です。



図書委員会からのおすすめの本

本好きのための 本好きに捧ぐ本

2冊目 『甲子園だけが高校野球ではない2』

5月17日(月)放送分

もう1冊紹介する本も『甲子園だけが高校野球ではない 2』です。

第3章の「高校野球と震災」。実家を出てあこがれの高校に入学して寮生活を送っていた僕に3.11東日本大震災がおこります。故郷である福島の家族は無事かどうか、不安な夜を過ごしながら 生きたこちもせず、やっと1週間たったころに父と連絡がとれました。

震災後にボランティア活動をしながら野球をつづけ、チームは夏の甲子園出場をきめました。僕自身は試合に出るという甲子園の舞台には立てなかったけれど、スタンドでチームメートを応援しながら甲子園の夢がかないました。

震災後、野球などしている場合ではないと思いつつも野球を続けてきてきましたが、スポーツを通して人を励ますことできるという力は凄いなあと感じました。自分の好きなことでほかの人に元氣や夢を与えることがすごい、いいことだと思いました。